

みんなのいえ便り

No. 8

有限会社くさなぎ農園就労継続支援A型事業所
NPO法人サポートセンター・えん

発行：2012年3月16日

〒080-2336

北海道帯広市八千代町東1線180番地

有限会社くさなぎ農園

NPO法人サポートセンター・えん

Tel・Fax 0155-60-2012

ホームページ開設!

平成24年2月中旬、ついに有限会社くさなぎ農園のホームページがオープン! 昨年より準備し、農園紹介、平飼いたまご、長芋黒豚、福祉農園、NPO・えん、商品案内とカテゴリごとに見やすくなっています。アドレスは<http://www.t-owls.org/kusanagi/>です。鶏・豚のこだわりのポイントから、ケアホームの様子まで、これを見ればくさなぎ農園の全貌が明らかに。是非ご覧ください。



パンフレットも登場

昨年、たまごと黒豚のパンフレットも出来上がりました。見掛けましたら、是非手に取ってご覧ください。



今年も快走!

平成22年に引き続き、23年も「帯広市民マラソン3km一般の部」に出場したMさん。前回は26秒上回る11分39秒という好タイム。見事一般男子の中では1位でした。中学生陸上部員とスタートからゴールまで走り負けることなく、練習の成果を発揮できました。



わたしは10月10日にマラソンを行いました。きおなふりタイムがちがまったのでうれしかったです。さ(い)に中学生をゴールのところで3でおいあかしたのがうれしかったです。

M・S

祝 成人

今年、Oさん、Hさんが成人式を迎えました。両名とも高等学校卒業後、「みんなのいえ」に入居して当農園で働いていますが、日に日に逞しくなり、スーツの似合う男性に成長しました。

1月8日に行われた帯広市の成人式にもスーツ姿でバッチリ決めて出席してきました。これからは大人の自覚を持ち、ますます頑張る、

『カッコイイ大人』になってください。



突撃インタビュー

Kさん編

今回は、平成22年1月からケアホームに入居し、くさなぎ農園で働いているKさんにお話を伺いました。

Q. 昨年から豚が増えてきていますが、仕事はどう？

A. 鶏とは違って、種付け、出産、肥育、出荷と仕事の種類が色々あって大変です。

Q. 豚にも個性が？

A. かじったり鼻で突いてきたりして喧嘩を売ってくる豚や、寄ってきて癒してくれる豚や色々です。一頭の母豚がいつも寄ってきて、俺の癒しになってる。

Q. 休みの日の楽しみは？

A. 部屋でボーッとしているのが幸せ。

Q. 好きなアイドルは？

A. AKB48の板野友美、浜崎あゆみ、西野カナ、スパイスガールズ、ビヨンセ。

Q. 好きな女性のタイプは？

A. ボン キュッ ボン！ 

Q. 年2回の帰省の時の楽しみは？

A. 地元の夜の街を散歩するのが楽しみ。羽が伸ばせる。年1回ススキノのきれいなお姉さんと飲むのも楽しみ♪



いつもマイペースでぶれない“カツ”
高校卒業から10年、様々な経験をしてきた落ち着きがさすがです。

衛生講習会～歯みがき編

今年の衛生講習会のテーマは『歯』。2月27日夜、ケアホームの利用者で歯みがきチェックをしました。虫歯治療が必要な人、歯列矯正を希望している人、歯周病の疑いがある人等、歯の健康について話題に上ることが多かったので、やりたいと思いつつ、ずっと先延ばしになっていました。

磨き方は人それぞれ。強い力でゴシゴシこすり、歯ブラシの毛先が広がってしまったり、歯ぐきから出血している人も。染め出し液で汚れチェックをしてみると、歯と歯ぐきの際が磨けていない人が多く、真っ赤に染まってしまいました。

この日は、

- ① 毎日必ず磨くこと
- ② 歯ブラシはそっと細かく動かすこと
- ③ 歯の間は糸ようじや歯間ブラシを使って磨くこと

以上3点を確認。これからも時々歯の話題をみんなですていければと思います。

親の敵じゃないんだから・・・



芸能人は歯がいのち！

おお キレイ！
男っぷりが上がったね



農援隊報告

仕事に行く日
が楽しみ♪



昨年11月から12月中旬まで、戸蔭の小林農場にて、センキュウの仕事をしてきました。主にはさみで根茎を切り分ける仕事をしました。利用者がわかりやすいよう、一つ一つの作業を丁寧^{ていねい}に教えてくださり、休憩時間^{きゅうけいじかん}も職場^{しょくば}の皆さん^{みな}が楽しくお話し^{はな}してくださったそうです。さらに、仕事納めのボーリング大会にも誘^{さそ}ってくださり、楽しい一日^{いちにち}を過ごすことができました。農園^{のうえん}のメンバー以外^{いがい}の方たち^{かた}と余暇^{よか}を過ごすことは、何事^{なにごと}にも代え難^かい貴重な^{きちょうな}経験^{けいけん}です。どうもありがとうございました。



センキュウって何？

根茎^{こんけい}が鎮痛剤^{ちんつうざい}や鎮静剤^{ちんせいざい}となり、漢方^{かんぼう}では婦人病^{ふじんびょう}の治療^{ちりょう}によく使われ^{つか}るセリ科^{せりか}の多年草^{たねんそう}です。冷え性^{ひえいせい}やお肌^{おみ}にも良い^よとか。白い^{しろ}小さな花^{ちいはな}が咲^さき、セロリ^{せろり}のような独特^{どくとく}のにおいがします。



フォトアルバム

送別会^{そうべつかい}や忘年会^{ぼうねんかい}など、リラックスしたみんなの表情^{へいじょう}をまとめてみました



平成22年10月から当農園^{とうのうえん}で働^{はたら}いていたKさんが平成23年10月末^{へいせいねんがつすえ}に、平成22年4月^{へいせいねんがつすえ}から働^{はたら}いていたHさんが平成24年2月末^{へいせいねんがつすえ}に退職^{たいしよく}しました。二人^{ふたり}とも新しい夢^{あたらしいゆめ}に向かってこれ^むからもがんばってくださいね。

スタッフ日記

冬2月、連日-20℃を越えた厳しい寒さがつづいています。寒冷地仕様に来て

くさなぎ農園のお兄さんたちは元気に外仕事をしていますが、そうでない私は「寒い、寒い」を連発して笑われています。

昨年11月29日に子豚が9頭産まれました。極寒の寒さを心配していましたが、子豚たちは豚房の中を元気に走り回っています。さて、この9頭のうち、心配な子豚が1頭います。

母乳を飲む時、子豚たちのおっぱいは決まっています。このチビ豚は母豚の後ろ足の足元のおっぱいを飲んでいましたが、どうやら母乳の出が良くなかったようで、他の豚の1/3程しかないのです。

このチビ豚が心配で、隔離してエサを与えてみたり、夜は寒さに耐えられないといけないので、暖房器具のある小部屋に移しやったりと、世話を焼いていました。

毎回の食事とき、3つあるエサ箱は9頭の子豚たちが群がって競争し合います。チビ豚もエサ箱に頭を突っ込みますが、他の豚たちに背中から乗られたり、鼻で持ち上げられて、エサ箱の外に何度も追い出されてしまいます。それでもひるまず自分の身体の倍以上ある豚たちの間に割り込んでいき、喰らいついていきます。気持ちは決して他の豚に負けていません。

一緒に仕事をしていた勝又君も「こいつはチビだけど、根性はある。」と言っていました。

このチビ豚（メスなのですが）、本当に根性があります。

この姿を見ていると、生きていく上で大切なのは気持ちだなと思います。

このチビ豚は“生きていくために”必死にエサ箱に喰らいついていますが、くさなぎ農園のお兄さんたちは、自立して生活していくために、“仕事を続ける”ことに喰らいついて欲しいです。仕事の事、ケアホームでの生活の事、ツライ事も多いはず。でも、くさなぎ農園で“仕事を続ける”という強い気持ちを持って、これからも頑張ってください。職業指導員

福祉について語れといわれ、非常に抵抗があった。何故なら自分にとって福祉とは大仰に語るものではないと思っているから。「福祉だから、社会福祉のため、福祉施設etc.」なんだかしっくりこない。強いて言葉にするとしたら「誰かが困ったときに、生きていけるように助け合える あら安心」こんな感じか。障がいとか老齢とか、自分や家族の“来た道”と“行く道”だ。だから、お年寄りや障がいを持った人が、思い切り泣いたり笑ったりして生きていたら「何だか長生きしたいわ」と嬉しくなったりする。自分が手助けした分、安心や希望を見せてもらっているということか。

ちなみにこの原稿を書くにあたり、改めて国語大辞林で「福祉」を引いてみた。そこには『幸福。満ち足りた生活環境。さいわい。』の文字が。な～んだ。これなら抵抗無く受けとめられるかも。

「くさなぎ農園あしあと」

- H23 10/20 スタッフミーティング
- 10/25 送別会
- 10/27・28 相談従事者研修（草薙）
- 11/18～ 小林農場センキュウ作業
- 11/26 避難訓練
- 12/5 利用者ミーティング
- 12/16 忘年会
- 12/22 実地指導（みんなのいえ）
- 12月末～ 交替で正月休み
- H24 1/8 成人式（2名）
- 1/14 ダスキン新春の集い（2名）
- 1/24 スタッフミーティング
- 1/30 実地指導（就労継続支援A型）
- 2月中旬 ホームページ開設
- 2/21 スタッフミーティング
- 2/27 衛生講習会
- 2/28 送別会